

学校名	平川市立竹館小学校
授業者	今井 幸子

1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

2. 単元名

海の生き物を育ててみよう（児童会活動）

3. 学年

4・5・6学年

4. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

特別活動

5. 単元の概要

児童会の環境委員会の活動として、玄関ホールに海水環境を再現した水槽を設置し、カクレクマノミとペーパードットシュリンプの飼育にチャレンジする。  
 毎日の餌やりと生物の健康状況の記録、定期的な水交換と水質管理へ計画を立てて取り組ませる。  
 生物の観察記録と成育状況については、全校の児童へ集会等や児童会便りで周知する。

6. 単元設定の理由・ねらい

児童たちが海水魚に接することで、海中にすむ生物に親しませるとともに生命の尊さを実感させる。また、異年齢の児童同士で協力して役割を分担する活動の中で集団における人間関係をよりよく形成しようとする態度を養う。

7. 育みたい資質や能力、態度

海洋や海洋生物についての確かな知見、活動態度としての主体性及び協働意欲、問題発見能力、コミュニケーション能力等の言語力、情報収集能力、分析力、表現力、学習を振り返る力

8. 活動の展開

時数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎朝、毎夕の餌やりを行う。</li> <li>・昼休みに観察記録をつける。</li> <li>・委員会活動の日（2週間に1度）には、水交換を行う。</li> <li>・適宜、観察記録について全校集会で発表し、海の生物についての理解を広げる。</li> </ul>	教師の指導 ・長期休業中や土日は教師が水槽を管理する。 使用教材 ・水槽用網、海水専用循環フィルター、水槽用LED照明、カルシウムサンド、水中デジタル温度計、水中ヒーター、600サイズ水槽、カクレクマノミ3匹、シュリンプ3匹

## 9. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいて構いません。

## 10. 活動における位置づけ

活動  時間中の  時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

## 11. 活動の目標

海の生物（とペパーミントシュリンプ）を飼育し展示する活動を通して、全校児童の海の生態系に対する興味と関心を高めるとともに保護者や地域住民の海洋環境への理解を啓蒙するきっかけとする。

## 12. 活動の展開

## 13. 今回の活動の自己評価

毎朝、クマノミの水槽の前には児童たちが集まり、異学年の子供どうしが海の話から学校生活についてまで、互いにコミュニケーションを重ねる場となっている。クマノミの泳ぎを観察しながら浅虫水族館の様子を思い出したり、海洋生物への興味や関心は確実に高まってきていると感じる。また、児童会の環境委員会の活動についても、以前までは形骸化していたきらいがあったが、海水水槽への取組を通して大いに活性化してきた。



## 14. 今後の課題

水槽内は人工海水でつくった環境であるため、水質の管理に手間がかかる。特に、本校は寒冷地にあるため、冬場は 25℃ に設定している海水がさかんに蒸発し、海水濃度が高くなりがちで注意を要する。

## 15. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

水槽内に海水環境を再現するためには、専用の循環フィルターをはじめ人工海水塩、水中デジタル温度計、ヒーター等が必要であり、相応の経費を必要とする。また、カクレクマノミは 1 匹 1500 円、シュリンプは 1 匹 2000 円ほどであり、当地までは遠方から空輸しなければならない。